

～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

平成 26 年 5 月号 Vol.76



Good bye Perio プロジェクト

“フロス” 知っていますか？

こんにちは

歯科衛生士の松本です。

今回は**フロスの5つの効果**

1 歯ブラシだけだと60%の清掃効果。フロスも併用したら100%にアップ！

2 むし菌の早期発見！フロスが引っかかりたり切れたりするなら、初期むし菌かも

3 詰め物などの不具合発見！フロスで詰め物が外れたらやり替えのタイミングかも

4 歯周病の発見！フロスをして血が出たら、その部分は歯ぐきが炎症を起しているかも

5 口臭予防！フロスなら歯ブラシでは磨けない歯ぐきの中の口臭物質に届きます。

フロスの仕方、

私に聞いてくださいね♪

新 緑まぶしい季節ですね！！

こんにちは。いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。5月になりましたね。4月とは違って、日に日に日差しが初夏という感じになってきましたよね。風薫るという言葉があるように、肌寒い風ではなくて、若葉の中をさわやかに吹き抜けてくるイメージの風が吹き気持ちがいい季節になりました。5月には、5月病という言葉あるように、4月に新しく始めたことが、思い通りに進まず嫌気がさして来たり、気分が乗らなかつたりする季節でもありますよね。冬に縮こまっていた体が、夏ののびやかな体へと移行する時期でもあり、肉体的にも変化に対応しようとエネルギーを使う時期なので、余計にしんどいかもかもしれませんね。そんな5月病が顔を出したら、うまくストレス発散することをお勧めします。おいしいものを食べたり、趣味に没頭したり、しっかり体を動かしたりと、自分のペースでストレス発散してほしいと思います。この時期を乗り越えられれば、きっといい一年間が待っています。新しく芽吹いた若葉の緑色が濃くなるように、私たちも充実した5月を過ごしましょう！

院長 池上 誠

噛み合わせのお話⑩～乳児食と噛み合わせ～

今回は、噛み合わせと小さなお子様の食習慣との関係についてお話しますね。おせんべいのような硬いものをきちんと噛んで食べられるようになる年齢って何歳くらいだと思いますか？臼歯と呼ばれる奥の歯が生え始める平均年齢は、2歳9か月ごろと言われています。したがって、生えそろって、きちんとおせんべいが食べられるようになるのは、3歳くらいだと言われています。この3歳までの食習慣で、上あごも下あごも歯が生えるおおよその位置が決まってきます。つまり、上あごと下あごの位置が正しければ正しい噛み合わせになりますし、上あごが前に出ると出っ歯傾向に、下あごが前にでると受け口傾向になり、その傾向のまま成長してしまいます。ただ、幼児期の場合、体の成長、特に骨格の成長がまだまだありますので、歯の生える位置やあごの前後の位置の矯正は比較的スムーズに行えます。とはいえ、そうならないためにどんな食習慣を身につければいいのかについて、次回お話しますね。

～あなたの声を聞かせてください（患者さまの声）～

このスペースでは、治療後に寄せられた患者さまの声を掲載しています。

・フレンドリーで、好感のもてる先生だと思います。（匿名希望さん）

・イラスト（動画）や自分の歯の写真を使って説明しながら治療してくださったので、安心できました。（匿名希望さん）

〒700-0827
岡山市平和町6-27
WAKAビル2F
発行：池上誠



歯科・口腔外科・小児歯科・
レーザー治療・予防歯科・
インプラント・ホワイトニング
西川沿い・岡山駅から徒歩10分
いけがみ歯科クリニック
(086) 237-7731